

平成21年教育委員会第6回臨時会会議録

開会日時 平成21年6月25日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前10時30分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 松本 實
同職務代理 遠藤 勝男
委員 佐藤 昭
委員 面田 博子
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	吉田 義仁
・庶務課長	深井 祐子	・教育計画推進担当課長	木佐森 茂
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	新井 洋之	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	尾形 保男	・葛飾図書館長	高木 利成

書記

・企画係長 平井 大介

開会宣言 委員長 松本 實 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 松本 實 委員 遠藤 勝男 委員 山崎 喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

委員長 ただいまから、平成21年教育委員会第6回臨時会を開会いたします。

それでは、議事に入ります。

本日は、請願・陳情・議案はございません。

それでは、報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成21年度『教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検及び評価』の実施について」をご報告願います。

庶務課長。

庶務課長 それでは、報告事項等の第1番目でございます「平成21年度『教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検及び評価』の実施について」をご報告申し上げます。

既に20年度から実施しているものでございますが、趣旨につきましては、昨年4月1日に施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正されたことによりまして、すべての教育委員会において、教育に関する事務の管理・執行状況の教育委員会としての自己点検及び自己評価の実施が義務づけられたといったことに伴いまして、葛飾区におきましても昨年度と同様に実施をするというものでございます。

(1)として、平成20年度に執行いたしました施策、事務事業の取組状況を対象に点検・評価を行い、課題、あるいは取組の方向性を明らかにして、より効果的な教育行政の推進に資するというところでございます。また、(2)といたしまして、この点検評価でございますが、自己点検という形ではございますが、教育に関し学識経験を有する方の意見を聴取した上で行うということございまして、その結果を区議会に報告し、さらに区民に公表するというところで、区民への説明責任を果たし、こうしたことを通して、保護者や地域を始め、区民から信頼される教育行政の推進の一助とするという形でございます。

2番目の実施方法。これは、昨年度と同様の方法で実施をしていくという考えでございますが、先ほども申し上げましたように、昨年度に執行した施策、事務事業の取組状況を対象とし、実施上の課題、今後の取組方向の方向性を明らかにするというところでございます。そして、学識経験者の意見を聴取した上で、また教育委員会におきまして点検・評価を行うという形でございます。教育分野に関しまして学識経験を有する者といたしまして、学校教育及び生涯学習の両分野から各1名を点検・評価委員としてお願いをする考えでございます。そして、教育委員会において点検・評価を行った後、結果を区議会文教委員会へ報告するとともに、区のホームページに公表するという形でございます。

点検及び評価のスケジュール(予定)でございますが、7月6日に部課長から教育に関し学識経験を有するお二人に対しまして、施策、事務事業を説明し、質疑応答を行って、十分ご理解をいただくという場を設ける考えでございます。そして、17日までに学識経験者からも意見

書の提出をいただき、7月29日の第7回臨時会で報告書の案をまず教育委員会としてご報告を差し上げたいと思っております。それで、8月10日の第8回定例会にその自己点検評価の結果について議案として付議をさせていただきます。そして、9月11日に文教委員会が予定をされておりますので、この場で報告し、その議会報告の後、区のホームページに公表するというスケジュールで考えているところでございます。

参考資料といたしまして、昨年4月1日に改正されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の抜粋を記載させていただいておりますので、ご参照いただければと思います。

以上でございます。

委員長 ただいまの説明についてご質問等ございませんか。

面田委員。

面田委員 では、三つほど。

一つ目ですけれども、点検及び評価のスケジュールの予定がここに出ておりますね。7月6日から始まりまして、区のホームページに公表される9月の終わりまで作業をするということ。先ほどお話もありましたが、去年は慌ただしく、たしか12月になって期限が1月と、19年度のを今の時期にやるのかと思ったのですが、理由としては法律が改正されて検討が必要で、その時期でやられたということでもよかったのですが、今回は、これでいきますと、非常にゆっくりというか、時間の余裕があって、きっと時間を十分有効に使えるのかなと思いました。今後もこのスケジュールで、来年も続くのかどうかというのが一つです。

それから、二つ目ですけれども、今のスケジュールや実施方法にかかわるのですが、去年と変わったところがあるのかと。もしあったらそれをお聞きしたいというところです。方法についてもお願いします。

それからもう一つは、ここに学識経験を有する方をということで各1名と出ておりますが、もうそのあたりはお考えになっていらっしゃるのかなと。私の感想なのですが、昨年のお二方は大変すばらしい立派な方で、区でやっていることを冷静に見てくださって、評価の中に課題も入れてくださったりしたので、とてもいい方を人選されたなと思っておりましたので、どの方になるのかなという思いでした。

その三つをお伺いしたいと思います。

委員長 庶務課長。

庶務課長 今、面田委員からいただきましたご質問の1番目、今年度のスケジュールと昨年度と比べてということ。昨年度、実は20年4月1日に法律が改正施行されて、このやり方は初めての試みということもありまして、私どもも、23区も含めてですけれども、各自治体ともどんなやり方でやったらいいのかというようなことを試行錯誤しておりました。また、文部科学省からの指示といいますが、お話でも、例えば「やり方については、各自治体の教育委員

会でその独自性を生かしてさまざまなやり方でも構いません。」というような話もありました。そのために、23区の中でも、私どもの区も既にやっておりますが、行政評価制度といったものをこれに置きかえて、その行政評価の結果をもってこの点検・評価にかえるといったような自治体もあったと。やり方についていろいろと試行錯誤していたということもございまして、昨年度につきましては、年度末に19年度の分をやるというようなことで、大変遅れたスケジュールになってしまったのですが、今般、この趣旨といたしましては、前年度の施策事業を早い時期に、次の予算等に反映させる時期までにこういった自己点検を行って、翌年度のさまざまな区の教育委員会としての取組に反映させるものにもしていく必要がございますので、この時期に、20年度、昨年度の事業等の決算状況がきちとまとまったこの時点で早急にやるというスケジュールにさせていただいたというところでございます。

そして、やり方として昨年度と変わったところでございます。昨年度、先ほども申し上げましたが、やり方として試行錯誤しながらこういったやり方でやったのですが、面田委員からもお話しいただきましたように、学識経験者の方たちへのきちとしたご説明をし、適切な評価というかご意見をいただいたというようなこともございましたので、21年度、今年やるこの点検評価につきましては、昨年度と同様のやり方でやってまいりたいというふうに考えております。

そして、学識経験者でございますけれども、昨年度は学校教育分野におきましては、板倉東雄さんという方をお願いをいたしました。この方は、葛飾区立の中学校の校長先生を経験なさっていたこと、また、葛飾区の今般の教育振興ビジョンの改定の検討委員、また人権擁護委員等、さまざまにご活躍をなさっておられる方ということでお願いをしましたが、今年度も同様をお願いをしたいと考えております。

それから、生涯学習分野でございますけれども、佐藤一子さんという教授でございます。法政大学の教授をなさっております、専門分野は生涯学習、あるいは社会教育というところで、葛飾区社会教育委員の会議において葛飾区の生涯学習振興ビジョンを策定したのですが、その社会教育委員の会議の座長さんも務められたという方で、やはり区の生涯学習行政、あるいはそういうものについて非常によくご理解をいただいていると。そういうことを前提に、私ども教育委員会の活動をきちと評価していただけるということから、このお二人を今年度の点検・評価においてもお願いをしたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

委員長 よろしいですか。

面田委員。

面田委員 今のお話を聞きまして、すごくよかったなという思いであります。この辺は感想になるかもしれないのですが、昨年まとめた区民への報告書を思い出して読んでみたの

ですけれども、たしか「今後は」という言葉で課題を入れていたのですね。そうすると、「評価したことを次の年の取組に反映をさせる」という基本線があるわけだから、その辺が「今後は」というあたりが、20年度どういうふう施策として出たのかということが見えるのかと思いつながら、今感想ということでお話ししました。

いずれにしても、課題や成果を一つひとつ検証しながら区の教育を進めているから、今の葛飾区の教育レベルが少しずつ上がって、確実に上がってきているというのを実感している根拠になっているなという思いでいました。自己点検ではあっても、そういう外部からの声を聞きながらの自己点検なので、非常に意味のあるものだとはとらえています。ありがとうございます。

委員長 そのほかにご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

委員長 それでは、報告事項等2「平成21年度子ども区議会の開催について」をご報告願います。

指導室長。

指導室長 それでは、私から報告事項等2「平成21年度子ども区議会の開催について」、ご報告させていただきます。資料をご覧くださいと思います。

今年度も子ども区議会を開催するというところでございます。日時は平成21年12月25日、午後1時から5時までということでございます。募集につきましては、全体で40名でございます。中学校につきましては、昨年度と同様に募集をいたしました。

2枚目をご覧くださいと思います。

各中学校あてに「子ども議員の推薦について」ということで、中学校においては推薦書により各校1名の推薦を6月2日の校長会でお願いをしたところでございます。各学校から幅広く意見を言える生徒を推薦したことで子ども区議会が充実しますということで各中学校長に協力をお願いしたところでございます。

また、小学校につきましては、推薦及び一般公募で募集をさせていただきます。5年生、6年生を対象にさせていただいています。推薦につきましては、既に地域教育課から昨年度の少年の主張大会本大会の出場者について、児童が所属する小学校を通して参加依頼をさせていただいています。

一般公募につきましては、「広報かつしか」及び本区ホームページにおいて募集をかけているということでございます。

質問のテーマでございますけれども、児童・生徒が作成する質問のテーマにつきましては、子どもの自由な発想をということで、「自由」ということになっています。例えばということでは、「葛飾区の将来に望むこと」とか「私が住んでいる街で気づいたこと」などを例示として子

どもたちに示しております。

質問の趣旨ですとか質問内容につきましては、校長先生を初め、各学校での指導を入れていただくということでお願いしてございます。

事前学習会でございます。本年度は、公募・推薦合わせて、子ども区議会に参加するすべての児童・生徒を対象に事前学習会を行う予定でございます。8月夏休み中に2回予定しています。事前学習会では、その担当は地域教育課にお願いしますが、関心あるテーマごとに区の施策を勉強したり、お互いの意見交換をしたりしていく中で、当日の自分の質問の内容をつくっていただくようにしていきます。また、代表質問の内容と代表質問者を事前学習会を通して決めていきますので、児童・生徒を推薦する際、その事前学習会のこともあわせて周知していくというようなことで進めていきます。

その事前学習会ですけれども、8月5日と19日を予定してございます。その窓口につきましては、地域教育課にお願いをしてございます。また、指導室といたしましても、直前になりまして、その機運を盛り上げたり、立派な質問ができるように指導を加えていくという予定であります。

以上でございます。

委員長 質問等がございましたら、お願いします。

面田委員。

面田委員 私も、3回、この子ども区議会を参観させてもらいました。最初の年は、こんな短い質問で盛り上がらないなというのが本音ではあったのですが、昨年あたりは、内容に深みがあるというのか、とても質が上がってきたなと思ったのです。聞きましたら、指導室のほうでかなり指導をしていると。やはり、子ども・生徒は指導があってその結果があらわれるのだなというのを改めて感じ、学校外ではあるけれども、私は勉強になったのです。

これを見ますと、今、予定を組んでいて、そして夏休み中にも2回事前学習会を行う。そして今回は、出るお子さん全員を集めてきちんとご指導していただけるということ聞きまして、きっと12月の区議会がますます活発で中身の濃いものになるのだなという思いで聞きました。私は、この区議会をやって、いろいろないいことがたくさん出てくると思うのです。私は、親にもとてもいいのではないかと思うのです。今、選挙の投票率が30%を切っているとか、皆さん政治や行政に関しての関心が薄い中、こういうことを通して区議会というものを親御さんはもう一度きちっと見るだろうし、そういうことも、区に対して、ただ文句を言ったり不平を言ったりするだけではなくて、こういうふうに区の行政の方がきちんと対応してくださっているのだということを知るいい機会になるなど。それから、子どもにとってみても、自分は葛飾区の子どもののだという、郷土愛まではいかないかもしれないけれども、きっとそのことはいい血や肉になって大人に成長していくのかななどと思うのです。そういう精神的な部分でも

非常にいいものだと思っておりますので、ありがたいと思います。これからも大変ですが、よろしく願いをしたいと思っております。

感想でした。

委員長 ほかにございませんか。

佐藤委員。

佐藤委員 私も年々よくなっていると思います。多分、指導室で頑張っているのだと思います。事前学習会を開くというのはよい案だなと思います。しかし、逆に、余り負担をかけないようにもお願いしたいと思っております。

それから、葛飾区の中学校、小学校を合わせて73校ありますね。40名ですから、仮に各学校1人ずつ出てしまうと人数が多くなってしまいますけれども、その点どうするのか。逆に、たしか同じ学校で2人出ていたりしたケースもあると思っておりますね。その辺はどういうふうにするのですか。

委員長 指導室長。

指導室長 これまでの参加状況ですけれども、定員を越えるということは残念ながらございませんので、調整をさせていただきながら、場合によれば数を充足させるために同じ学校からお二人というようなケースもあったというふうに記憶しております。

また、趣旨は「今後の区政運営の参考にする」とありますけれども、指導室といたしましては、あくまで子どもの成長の一つの大きな機会であるというふうにとらえておりますので、子どもの負担にならないような形。また、こういう新しい社会に触れる部分ということは非常に大切なことだというふうに考えていますので、そういう趣旨を子どもの視線に立ったところで指導室としては指導を進めていきたいというふうに考えています。

以上でございます。

委員長 ほかにございませんか。

遠藤委員。

遠藤委員 大変歴史の長い子ども区議会であります。今お話がありましたように、年々進化しているといえますか、成長しているというような印象を抱いております。

ところで、この子ども議会の記録は、質問内容から、答弁から、出身の各小・中学校にいわば図書としていつているかどうかということをお教えいただければと思います。

委員長 指導室長。

指導室長 1枚目の資料の裏面にございますように、会議録につきましては、参加された子ども区議会の議員さんと参加校に1冊ずつ配付をさせていただいておりますので、配られた各学校におきましてはそれを有効に活用していただくということで、ことしはさらにその辺もお願いしていこうかなというふうに思っております。

以上です。

委員長 よろしいですか。

遠藤委員 はい。

委員長 秋本委員。

秋本委員 子ども区議会は、大変立派な子どもたちが各学校から集まってきたのだなと私も昨年初めて参加させていただいて感じました。また、各学校の先生方、そして校長先生の指導の導きがあり、そして学校の特色があつてのことだと思います。この募集方法のところを見ますと、各学校からの推薦、中学、都立からの推薦、少年の主張大会からの推薦とか、いろいろありますが、昨年初めて見せていただいて、いつも同じ子というか、少年の主張に出ている子、科学教室に出ている子、同じ顔ぶれの子がいっぱいいるなど。立派な子たちが集まってくるといところでそういう子たちが推薦されたのかと思いますが、いろいろな子に経験させてあげたいなという思いもありますし、偏らないほうがというような気もするのです。この募集方法が「各学校に推薦させる」ということでこういう立派な子たちが集まってくるのかなと思いますが、その方法についても偏らないようお願いしたいなというふうに感じます。

委員長 指導室長。

指導室長 委員ご指摘のような形で、なるべく幅広い形で、子どもたちのさまざまな学習機会の一つととらえておりますけれども、そういうものを広く行き渡らせるような形で各学校のほうには改めて今度の校長会等でアナウンスしていきたいというふうに考えています。

以上です。

委員長 ほかによろしいですか。

私も、年々よくなってきていると思います。今出たような声を入れて、よろしく願いしたいと思います。

続きまして、報告事項等3「平成20年度文化・スポーツ活動助成実績について」、ご報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 「平成20年度文化・スポーツ活動助成実績について」、ご報告いたします。一覧表のほうをご覧ください。

この助成は、区民の自主的な文化・スポーツ活動の振興を図ることにより、地域社会の活性化、健康で活力に満ちた区民生活の向上に資することを目標にして、葛飾区文化・スポーツ活動振興条例に基づいて行っているものでございます。最後のページになりますが、平成20年度におきましては年間で81件、金額では940万7,230円ということになりました。年度の経過では、平成18年が88件、1,100万円、19年度が77件、970万円となっております。団体の中では、最後のページ、8ページにあります81番「ミスダンスドリルチームインターナショナル in U

S A 2009」におきましては、テキサスで開催されました。共栄学園高等学校27人が参加いたしまして、金額といたしますと合計353万7,000円ほど、人数が多いものでございますので、1人当たりでは13万1,000円ほどの補助ということになります。成績といたしましては、61番のジュニアオリンピック110メートルハードルで、高砂中学校の白田耕平選手が全国で優勝ということ載っております。ただし、金額といたしましては1,000円の助成ということですので。都内でございますので。それから、白田選手は、あわせて78番のジュニア室内陸上競技大阪大会で60mハードルに参加いたしまして、結果といたしましては、やはりまた優勝、7秒86の大会記録を記録したということで報告をいただいているところでございます。今後も活動助成を適切に行いながら、スポーツの振興を図ってまいりたいと考えております。

以上です。

委員長 ご質問等ございましたら、お願いします。よろしいですか。

(「はい、結構です」の声あり)

委員長 ご苦労さまでした。

以上で報告事項は終わります。

ここで、教育委員の皆さんより発言がありましたら、よろしくをお願いします。ございませんか。

(「ありません」の声あり)

委員長 ないようでしたら、次に、「その他」の事項に入ります。

庶務課長、一括してご説明願います。

庶務課長 それでは、「その他」のほうでございます。

まず1番の資料配付ですが、7月の行事予定表をお配りしてございますので、よろしく願います。共栄大学ですとか聖栄大学といった区内の大学関係との連携講座といったものも予定しておりますのが一つ。あと、7月22日は、ご案内のとおり、皆既日食の日ということがございますので、博物館のほうでもこういった記載の「天文展示室での部分日食の観察」といったものも予定されておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

それから、今回出席依頼はございません。

そして、3の「次回以降教育委員会予定」でございますが、7月9日は1日教育委員会ということでございまして、午後は東金町小学校の特別支援教室の視察を予定してございます。そして、7月29日は、保田しおさい学校と岩井臨海学校の視察を予定しております。また、8月につきましても、定例会、臨時会の開催を予定させていただいておりますので、それ以外の日程につきましても改めてご確認をお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、これもちまして、平成21年教育委員会第6回臨時会を閉会いたします。

閉会時刻 10時30分